

★★★ 栃木県民の日記念イベント ★★★

～バスの換気性能実験と安全性のPR～

栃木県バス協会は6月11日、バス乗車時の新型コロナウイルスの感染予防対策を周知しようと、県庁の県民広場で開催された「県民の日記念イベント」に路線バスと貸切バス各々1両を展示して、換気性能の実験を行いバスの高い安全性をPRしました。イベント当日は梅雨空の中、関係者をはじめマスコミや沢山の入場者にお集まりいただき、大盛況の中で実験とPRが行われました。



実験開始の挨拶

午前11時から始まった換気性能の実験では、司会より「バス業界は新型コロナウイルス感染症の影響で、利用人員・営業収入とも激減し危機状況にありますが、バスは換気性能が優れているので安心してご利用下さい。」と窮状を訴える挨拶がありました。



バスに炊かれた白煙の様子、結構な迫力です

挨拶に続きバスの車両に実験用の煙が炊かれました。最初は何もなかったバスの車内ですが、煙が充満し始めると本物にも迫る迫力で入場者は興味津々。バスの周囲にはあっという間に人だかりが出来ました。



バス車内から煙が排出される様子

白い煙が充満した車内はエアコンを車外の空気を取り入れるモードに切替えると、煙は徐々に車外に排出され路線バスは3分、観光バスは5分で煙がなくなりました。実験の様子を見守った周囲の人々からは、バスから勢いよく排出される煙に歓声と大きな拍手が沸き起こりました。



福田知事からは深い理解と心強いコメント

実験には福田富一栃木県知事も視察に訪れ、担当者の説明に耳を傾けるなど熱心に実験を見学しておられました。実演後のコメントでは「バスの車内が十分に換気されていることが確認できた。県民の皆様には、安心してバスを利用していただきたい。」と心強いお言葉を頂戴しました。



解放されたバス車両、子供たちに大人気でした

その後、実験が終わったバス車両は入場者に開放され、子供達にはバスのグッズも配られました。始めは躊躇していた子供たちも「自由にバスに乗って、運転席にも座れますよ。」とアナウンスすると、親たちの手を引いて集まりだし、バスの周りは子供たちでいっぱいになりました。運転席に座った子供たちは目を輝かせながらハンドルを握るなど、思い思いのポーズで写真に収まっていました。